

アカデミア・アニマリウム 「屠体給餌プロジェクト」報告会を開催します！

千葉市動物公園では、動物たちの生活の質の向上と千葉県が抱える有害鳥獣問題への理解促進のため、「屠体給餌プロジェクト」を立ち上げ、2021年に実施したクラウドファンディングにおいて、たくさんの方々からご賛同と多大なご支援をいただきました。

この度、本プロジェクトの進捗報告会として、“屠体給餌“についての研究検証の発表と、有害鳥獣問題に関する啓発を目的に、鳥獣害の実態と各種取り組みについてのご紹介を以下にて実施しますので、お知らせします。

1 開催日程

令和5年5月20日（土）、21日（日）の2日間

2 会場

千葉市動物公園 動物科学館1階 レクチャールーム

3 参加費

無料（別途入園料は必要）

4 定員

各回150人（先着順）

5 時間割・発表者・演題

(1) 令和5年5月20日（土）



ライオンの屠体給餌の様子



アカデミア・アニマリウム ロゴ

時間	発表者（敬称略）	演題
13:00-13:25	千葉市動物公園 教育普及啓発員 平田 絢子	屠体給餌プロジェクトの概要
13:25-14:20	日本大学生物資源科学部動物学科 教授 細谷 忠嗣	捕獲個体を用いた屠体給餌：動物園における動物福祉と地域の獣害問題を結びつけ、環境教育への波及を目指す取り組み
14:20-15:00	千葉市動物公園 動物研究員 中山 侑	（研究報告）屠体肉の栄養評価
15:00-15:30	・東邦大学大学院理学研究科 修士課程1年 杉 萌梨 ・東邦大学理学部生物学科 准教授 井上 英治	（研究報告）ブチハイエナにおける屠体給餌が夜間の行動に及ぼす影響
15:30-16:00	・1008（センノハ）株式会社 代表取締役 辻 榮 亮 ・千葉市動物公園 園長 鏑木 一誠	2日目セッションへのプロローグ～ 1008(株)代表辻榮様と鏑木園長のトークセッション

(2) 令和5年5月21日(日) ※この日は「シシノメラボ」との共催です

時間	発表者(敬称略)	演題
10:30- 11:00	千葉県環境保全課 主査 町田 啓	千葉県における有害鳥獣被害(生活被害)の実態と対策
11:00- 11:30	千葉県農業経営支援課 課長補佐 大谷 直樹	野生鳥獣による農作物被害を減らすための対策
12:30- 13:30	猟師工房 代表 原田 祐介	命の授業
13:40- 14:40	館山ジビエセンター 合同会社アルコ 沖 浩志	持続可能な環境利用としてのジビエ
14:50- 15:50	シシノメラボ 安房野生獣革ラボ 大阪谷 未久	循環を実現する最後のピース「チバレザー」

<参考>

1 アカデミア・アニマリウムとは

千葉県動物公園では、自己研鑽としての「調査・研究」、伝え、教える活動としての「教育普及」を要の機能と位置づけるとともに、当園単独の活動のみならず、さまざまな学校、研究・学術団体、企業とも連携して行う、包括的な「調査・研究」、「教育普及」を「アカデミア・アニマリウム」(2020年～)と称し、推進しています。

2 2021年に実施したクラウドファンディングの特設ページ

<https://camp-fire.jp/projects/view/436648>



3 シシノメラボとは

千葉県内で獣害対策として獲られる「皮」を「革」へ生まれ変わらせ、「チバレザー」として展開をするべく集まった革職人三名で結成した団体です。

「獲る→食す→創る/学ぶ→還す」を掲げ、皮革を筆頭に関わる全ての獣資源活用にも積極的に取り組んでいます。



シシノメラボ ロゴ